

みなし研修



間主観性理論とは

古典的精神分析に対する
アンティテーゼ

2024年11月17日(日)

開催時間/9:30~16:30 会員/8,800円 非会員/11,000円

間主観性理論とは ～精神分析のメタ理論～

〈間主観性理論(かんしゅかんせいりろん)〉という言葉、あまり聞きなれないかもしれません。講師が最初にこの言葉と出会ったのは、長年にわたりメイヨー・クリニックで精神科医として活躍し、帰国後は慶応大学の教授を務めた故丸田俊彦先生の著書を通してでした。「間主観性とは、上に立つ者は、客観的にもものを見ているという主観があるだけ。結局は主観と主観のぶつかり合いになるという考え方。医療でいえば、医療者が客観的にみるといっても、それは医療者の一つの主観であり、客観的なものではありえない。その間主観的な研究では、患者と医療者との間で起こっていることが問題になる。」間主観性理論を知ることで、カウンセリングにおいて新たな一面が拓けてくるものと思います。

講師/高遠 康司 氏

- ・公認心理師
- ・交流分析士 インストラクター
- ・TA心理カウンセラー

柔らかな語り口で、優しい落ち着きを醸し出すジェントルマン。今年度の産業カウンセリング全国研究大会の第五分科会コーディネーターとしても活躍。

日本産業カウンセラー協会東関東支部 研修部
TEL : 04-7168-7160 MAIL hkt-kensyu@counselor.or.jp

